

# 早稲田ヨットクラブ

# 会報

第6号

昭和54年11月 発行  
 発行所 事務局長 隈部 勲  
 会費振込先 銀行 日本橋支店  
 普通預金 四四九七三九  
 口座番号 一四四九七三九  
 ワセダヨットクラブ 堀江 義一

## 台風下の四大学OBレース ワセダ勝つ(9月29・30日)

### 神風じゃあ!

第九回の、早稲田・慶応・同志社・関学の四大学OBレースは、今年も西宮で関学さんの幹事で開催された。過去優勝していないのはワセダだけだといふので、今年も必勝の意気に燃えて前夜祭から異常な盛り上がりでした。西宮ハーバーのヌシ、宮川先輩⑮は若いOBの前で、何時もの様にテレていられます。

この大会は中塚先輩⑩や関学の塩路大先輩らが話し合って始めた催しであるだけに、向先輩共、盛会にご満足でした。中塚先輩のあいさつに曰く、「ワセダは参加することに意義を認めすぎた。もう明日はレースをやろうがやるまいがワセダの優勝にしよう——」

海を渡ってきた洲本サントピアマリナーのマネージャー中沢氏⑳は台風の来襲にハラハラし乍らの参集。関西のヨットマン諸氏に日頃のご愛顧を謝すご挨拶。松本四七〇級強化委員長㉑は、本日体協がヨットをモスクワオリンピックの金メダル候補種目に認知した」との報告で意気ケンコー。

舟岡先輩㉒はもう来年のワセダ主催の関東での四大学レース運営にもう頭がいつぱい。

並木氏㉓ 先日のアドミラルカップの健闘の余熱未ださめず——日本のヨットは、世界のヨットは、オレを中心に廻っている——と叫ぶ。もともとこの人、学院生時代からそう言っていたわけ。

斑目㉔三井物産ヨット監督も多忙の中を参加。尾原㉕氏はもう西宮ハーバーの常連です。竹下映子さん(旧姓大西)は大君の慶応の竹下政義氏(この方はシラーのご子息)と共にご参加。元氣なお子さんもご一緒で賑やか。他校OBのお子さん達とケンカしたりして雰囲気をもりあげてくれました。

50年代になるとこれはレース当日のヒーロー達です。藤井(達)㉖ 角田㉗ 酒井㉘ 諸氏。ボクはワセダのヨットマンの歌いっぷりはもう一つの感あつたが四七〇トップで、優勝に貢献。

慶応の棚町さんも元気でレースで腕のサエを見せてくれました。最後にちよっ

とへばりましたが、小風さんも関東からの参加でした。同志社の秋山さんのダンディ振りには定評あるところ。前回優勝のカップを探し出せず。今回立派なカップを新調してくれました。

関学さんのホスト振りは全く見事で、塩路御大、村上会長をはじめ、学生諸君に至るまで統制のとれた立派な運営をしていただきました。森本さんは息子さんも立派なヨットマンに育って誇らし気。皆にうらやましがられていました。アドミラルカップ日本チームマネージャー荒井氏は現役当時、インターハイとインターカレッジ二度にわたって杉山ワセダにやられたと、ワセダへの貢献を強調。花崎先輩と共に今回の御尽力いただいた。

さて30日はレース。河村㉚さんも見えて一段と賑やか。台風14号が直進接近中で強風下のレースとなる。沈しては面倒なりとA級S級は中止。四七〇とレーザー一種目とする。

別掲成績の如く接戦で4点差でめでたく初優勝したのであります。中塚先輩より伝言「関西は勝ったぞ。関東も、しっかりせい」

レース後中塚・河村・松本・舟岡・並木各氏で田原先輩をお訪ねした。ワセダ優勝を信用してくれないので困った。さて来年は関東でワセダが当番校です。十月始の土・日に江の島で開催を計画しています。当日はクルーザーも集めて皆さんに乗っていたくつもり。年度別レースも考慮したい。本件舟岡氏を幹事として、成功させたい。

今回の催しには、松本・舟岡・棚町各氏大人も参加して下さい、良い会になりました事を申し添えます。

### 第九回四大学OB戦レース記録

一、昭和五十四年九月二十九日前夜祭 三十日レース、四七〇級・レーザ一級各四隻

二、OB出席者(順不同・敬称略)  
 宮川清、米田晴二、中沢弘、松本富士也、舟岡正、尾原健太、藤井達也、並木茂士、角田貴士、酒井俊夫、斑目寿明、中塚勝三、河村雄三郎、竹下映子以上十四名+松本・舟岡夫人参加。

得点	順位	名前	所属
3/4	1	田学社	田学社
2/3	2	早稲田	早稲田
2/3	3	同志社	同志社
2/3	4	関学	関学
2/3	5	早稲田	早稲田
2/3	6	同志社	同志社
2/3	7	早稲田	早稲田

(注)強風の為、一回戦のみで中止 (舟岡 記)

アンケート 九月中旬、事務局では「催物出欠お伺いとアンケートのお願い」を往復ハガキで、発送しました。

昨年作った名簿も、随分内容に変動が生じておりますので、整備を急ぎたいと思っております。返信ハガキ出し忘れの方今すぐに記入の上、投函して下さい。

稲竜 松島へ

8・23無事帰港

稲竜の日本一周は48年だったからもう六年にもなる。この間、当時の学生諸君もOBになり、新しい学生ヨットマンが育っている。本年は全日本インカレが仙台であるというので、稲竜の若者達は海から塩釜さんを拝さんものとクルージングを計画した。当クラブ稲竜委員会はこれをうけてバック・アップし、急速に実現の運びとなった。当クラブ主催、全コースOB一名以上を含むメンバー編成し、大学当局の了承を得た。

8・10 早晩四・〇〇 闇の油壺を出発。先づ 三戸浜沖にて、合宿所前の浜に

アドミラル・カップに

月光VI 健闘 81% 8%

外洋ヨットのオリンピックと言われるアドミラル・カップレースに、並木茂上氏(34)の月光VIが出場した。クルーには尾崎氏(42)も加わって、テレビに豪快な笑顔を見せていた。

このレースは一年オキの開催で、各国三艇づつの総合点で国別に競うもので、今年は十九ヶ国、五十七艇が参加した。過去イギリス七回、アメリカ二回、オーストラリアと西独各一回の優勝をしている。英国チームは元首相ヒースをキャプテンとし、大英帝国の威信をかけて三連勝を狙う。今年の日本チームは予選を勝

並ぶ学生諸君のセレモニーを受ける。暗い浜から 打上花火数発。そして回航の歌、都の西北、フレージャー・トリーユーと書くとも賑やかだが、沖なので耳をすませてやっと聞こえたり聞こえなかったり。答礼に霧笛を吹き鳴らしつ、南下開始が四・三〇。東京湾口は機帆走。途中で韓国船と接近し「アンニョン・ハシムニカー(今日は)のエール交換。快晴。

野鳥崎をかわしたところで暖寒流のぶつかる水域に入る、冷気立ちこめゾツとさせる。帆走快調、千倉沖もあつとい期間。一時間毎に位置測定をやりつ、勝浦入港時間を予測しあう。鴨川・小湊・行川と外房銀座通りを眺めつ、勝浦入り、十五時、入港し易く、中もすいていて利用し易い。月が出て、墨絵の中にいる様な気分させる港であった。

ちぬいた月光・トゴ・コテルテルの三艇で極めてコンペティティブな艇として警戒される存在だった。

レースは、英仏海峡・南英・南アイルランド水域で五回行われ、月光は微風のレースでは十位と健闘したが、最後のファーストネットレースでは暴風下、艇体破損あり、アイルランド南岸で無念の棄権をした。

このファーストネットレースにはアドミラルカップレース参加の五十四艇を含む三百六艇が参加し、死者十五名、艇体放棄又は沈二十三艇、救助者一三六名を出すという大変なレースになり、三十一メートルの風と十五メートルの波との闘いだったという。この時期この海域で

8・11 四・三〇勝浦出港。このコースは九十九里浜といううんざりコースだが、濃いもやの中で目をこらすと次々に大きな漁船が現われる。操業中の船団をかわしてゆくの、忙しい。日本のドーバー白い壁、屏風ヶ浦の奇景10キロがきたところ、犬吠崎の手前に第二目的港の名洗がある。バウで測深をくり返し、はう様に接近してゆく。……と、あれえ、人が立ってるぞ。浅い極めて不思議な避難港であった。外防波堤に舳う。漁師町の盆踊り、思いがけないファンの協力による安い買物。ファンの案内による地球展望台の見学など。安く買った余りに大きな氷を抱いて長身の嘉多内君がよろめき、ひっくり返るといふ小事故あり。夜半雷鳴 小雨。

8・12 四・三〇名洗出港。義経が四匹の

は久し振りの大シケのレースであった。このファーストネットには、清水栄太郎氏(33)もナビゲーターとして参加し貴重な体験をされた。微風難潮を予想して各チーム同様軽量艇でのぞんだだけにこの五時間に及ぶ苦闘は想像を越えるものがあったであろう。

ロンドンには天神武氏(32)が駐在中で元氣。海外の支店長という多忙な最中、月光及び日本チームの船積みのために大変お世話をやってくれました。

先日、経済界の招きでヒース元首相がレース後まもなく来日されましたが、その折、英大使館で昼食会が催されましたが並木茂上氏が招待されました。

犬を置いてゆき残された犬が吠え続けたというこの岬。全くそんな感じの難所で、全員ウオッチで岩礁群をさける。銚子をかわしたらコース中最も変化のない行程なのだが、鹿島コンビナートを左に見乍らケンケンに良くサカナがかかる。食に満ち足りた若者達はシイラは海に返してやる。ギジ餌にかもめが何度もやってくる。ひよつとしてヤキトリかと期待させる位、それにしても食事係の塙君の献立には全クルー全コース中満足させられた。原子力研究所が良い目標になり大洗に接近したが新しい港で水路誌にも記載なく入り口が判らない。こ、で通信係の長谷山君が実力発揮し洋上のケッチにパイロットになつてもらうことに成功。堂々の入港となる。

8・13 大洗―小名浜

8・14 小名浜―松島

平野先輩に大変細かい心くばりをいただき一同感謝しております。紙上をかり厚く御礼申し上げます。

全日本インカレを終り、帰路は夜間帆走も含め、勝浦経由で無事8・23無事帰港いたしました。ご協力いただいたOB諸氏にお礼申し上げます。坂爪艇長以下学生諸君ご苦労様。今後の健闘を祈る。(往路メンバー)

- 米田晴(29) 光武(53) 齊田(53) 北川(54)
- 坂爪・嘉多内(上期) 長谷山(三期) 塙(二期)
- (復路メンバー)
- 大矢木(45) 杉井(48) 坂爪、喜多内、長谷山、塙

⑬小暮祥夫 10月は国内出張 11月はタイに出張です。

⑭藤村紀雄 静岡・長野以北青森まで出張つゞき。働く楽しみを味わっています。とは表面のこと、疲れてガックリ。会合にも参加できず残念です。諸氏の健康を祈ります。

⑮増井啓男 定年退職後も健康に恵まれ海釣り等で楽しい日々を送っており、品川沖や本牧沖も昔と変わり今昔の感深いものがあります。先日名簿送って頂きOBの増加に驚き入りました。私共の現役時代は名簿といつても便箋二枚で足りた位でした。

⑯山田金次郎 田舎に引っこみ雑用をしながら元気で消光しております。ヨットクラブの動静、時折知らせていただき感謝しています。新潟にお出の節は連絡下さい。

⑰山田直之助 時々上京するが暇がありません。皆さんよろしく。

⑱長医秀明 諸兄によろしく。冬至君からOBバッチいたゞきました。

⑲宮川清 毎日の様に海へは行きますが余り艇には乗りません。今更の様にヨットの奥の深さに驚いております。

⑳堀利之助 松江に移転。益々遠くに離れ催しにも出席できず残念。身体は至って元気で。昨秋田原先輩をお見舞いしました。機会あれば力づけに行つてあげていたゞきたいと思ひます。

㉑高木茂 クラブ盛況で何よりです。先月会社設立(トヨタビスタ北千葉株)四月開始で目下準備に追われています。年末の会には是非出席します。

㉒平野和夫 老母が入院で看護に追われて諸行事に暫く出席できず誠に残念。関西四大学戦について中塚さんよりお慰りありがとうございました。

㉓石川雄太郎 昭和15・16年頃をなつかしく思い出します。柴又で倉庫業ガレージが本業になって了いました。

㉔金子四郎 元気で忙しく働いています。クラブの方、失礼してあります。御答謝を。

㉕露木建治 公私共に忙しく誠に残念皆さんによろしく。

㉖横田豊 例会は一度伺いたいと思ひますが仕事の関係で確定できません。

㉗木村一雄 元気で頑張つています。諸兄の健闘を祈つています。

㉘林 弘 理事の重任を意識し乍らも昼夜休日に関係なくとびまわっており、欠席ばかり。あしからず、忘年会はぜひ。

㉙大伏慶二 東京外国語大学附属日本語学校にいます。おいおい会合へも出席させて頂きますのでよろしく。

㉚新井芳雄 都落してライオンズ球場のある所沢にいます。文字通り都の西北緑ゆたかな田舎でのんびり。海から遠いのが残念。

㉛板倉勝男 21年卒吉沢氏52年に亡くなったと従弟の人からき、ました。

㉜染谷正一 何とも平々凡々の日を送つています。

# お、い 元気に やつてるか??

㉝石川武男 関西に在るが所用の為、四大学OB戦に欠席。円谷が最近日赤入院した由、奥さんから連絡あり。

㉞米田秀久 いつも会合に出席したいと手帖にも予定を記入しているのですが仲々出席できず申しわけない。元気で。遊佐喜弘 卒業以来始めて実技講習会に一泊参加。学生と砂浜を駆けました。

㉟齊藤勸 時折葉山の山からヨットを眺め往時を一人しのんでいます。近い機会に必ず会合に参加します。

㊱原田勉 来年9月モスクワオリンピックに観客として行く予定

―皆様からの―  
返信ハガキから―

(あくまでも子定ですが)

㊲加藤文生 53年卒石川清君が気仙沼高校の教師になりヨット部顧問に就任し教え子が本年国体にスナイプ選手として出場。先生になった人は始めてでは?

㊳清水栄太郎 関西ヨットクラブ宮川先輩にはアドミラルカップ予選以来いろいろお世話になりました。ありがとうございます。

㊴伊藤秀利 下田港に公営ヨットハーバーを設営すべく市に働きかけ努力中、最近では理解者も増えてなくなりつつあり、OB会と現役の発展を祈つてます。

㊵出 基人 今般営業担当役員になり忙しき一層。例会の日近づく毎に今度こそと思ひつ、毎度欠席。日程調整に励みます。

㊶齊藤龍雄 毎回印刷物楽しく読ませて頂いております。稲龍の回航に参加できず残念。心配なのは並木先輩達の月光の様子ですが。

㊷伊藤宏 本社が朝日東海ビルにありますが永楽クラブの会にもその内に。

㊸藤田享 最近では会社もなかなか社員を遊ばせておかない様です。自分の船にも今夏は一度しか乗れずフラストレーション進行中。

㊹冬至克也 クラブのこのところとみに活発で通信物毎回楽しみにしています。福岡在住OB現在六名です。転動してこられた方は是非ご一報下さい。

㊺大島徳次郎 先日蒲郡ハーバーでのインタークラブ、残念ながら人数集められず不参加に終る。飲み会は成功したので、名古屋を中心とした東海地区にも多勢のOBがおりますので、当地にいらつしやる時は是非ご一報下さい。

㊻小川寛樹 法学部5年生。一年遅れの卒業の為、只今就職活動の真最中。10月からはいよいよ会社訪問。さしずめカミのマークを廻つた時点というところで。

木曜日より(例会報告)

五月十七日(休)

理事会 永楽クラブ

(出席)小沢 松山 堀江 隈部 米田 女藤 岩本 浜田 杉山 鈴木 安井 加藤 原田武 守屋 冬至克 (15名) (議事)

①ヨット保険について

小沢・浜田両氏より 説明をき、討議の結果、監督を対象にして 指導者賠償責任保険に加入することにした。(実行済) 又、大学実技については保険料受講生負担で大学に付保してもらおうように大学当局に依頼した。対大学折衝は浜田・安藤両氏にお願いした。

②現役ヨット部への支援

日標額として、ヨット部に一八〇万円(内容は新艇建造費及び遠征費協力)と稲竜会計に六〇万円を設定した。募金方法は、既報の募金方法とした。尚、支出は段階的に実施することにした。

③事務報告・日程打合せ

今回九州から、冬主氏が上京の機会を利用して出席してくれた。九州でのOBミーティング用にOBバッジをお渡しした。

六月十四日(休)

世話人会 永楽クラブ (出席)堀江 隈部 田窪 野木 渡辺 木田 浜田 加藤 頼 大矢木(11名)

①大学実技のヨット保険(浜田氏報告) 受講の学生対象とする総合賠償保険で学生自己負担(受講料込み)として附保されることになった。

②稲竜の仙台回航

全日本インカレの機会に仙台に回航したいとの希望が、学生中心に盛り上がった。稲竜委員会で具体化提案。クラブの主催行事として実行することにした。大学当局への連絡手続は、安藤氏に依頼した。保険もクラブで付保する。

③日程打合せ

七月十二日(休)

理事会 永楽クラブ (出席)堀江 隈部 田窪 渡辺 米田 安藤 杉山 浜田 岩本 加藤 北川 並木 小坂 石川 (14名) (議事)

①月光VIで、アトミラルカップレースに出場する並木茂十氏が出席。抱負をき、つ、サポートロビールで激励会となりました。

②四大学OBレースの計画説明

八月二日(休)

稲竜委員会 永楽クラブ (出席)小沢 米田 安藤 頼 大矢木 杉井 尤武 齊田 北川 坂爪(学生) (議事)

稲竜の仙台回航の詳細打合せを行った。①学校への手紙 ②委員OB決定 ③寄港地決定 ④最終日程調整 ⑤保安庁連絡方法 ⑥保険料決定等

八月九日(休)

世話人会 永楽クラブ (出席)堀江 安藤 杉山 舟岡 浜田 (議事)四大学OB戦の詳細日程決定を舟岡氏より報告、参加料クラブ負担の件他。

九月十三日(休)

理事会 永楽クラブ

(出席)杉山 舟岡 浜田 加藤 安藤 大久木 米田 小川(学生) (議事)

①実技完了報告 安藤講師

本年は九十三名(内女子十名)九月四日より十日迄。九月十一日回航し無事に終った。遊佐OB⑩が二日参加してくれた。使用艇は稲竜の他四七〇③スナイプ⑥A級③デイセーラー①K16①レスキュー①④16隻。学生部員も良く協力し良く運営できた。

②全日本レース報告 加藤監督

べたなぎの松島沖で22チーム3艇ずつの66パイレース。全日本インカレ前日の学生個選で井上主将が二位になり良い雰囲気でのぞんだ四七〇だったが、結果は七位。レベルは優勝を争う実力があつたが、昨年も今年も非常に良い局面があつたが、つめの不足やボカがあり優勝できなかった。コース短縮を知らずに一位を逃がした一回戦の失敗はあとに響いた。二回戦の同志社による全艇への抗議「パドル寸法不足」は、レース順位に大きく影響を与えた。ワセダはこれで一隻失格した。四七〇優勝の横浜市大は失格もケースもなしで慎重さの勝利になった。スナイプは明治が優勝。尚、パドル問題は目下提訴中である。今後の課題として、慎重さち密さを日常から身につけさせたい。いずれにせよ、残念だった。

③今後の現役日程

10月15日17日 新人インカレ予選 19日20日 決勝 11月始め 新人WKレース 12月 新人テスト・勉強会

(4)稲竜クルージング報告 米田・大矢木

—省略—

(5)合宿所のこと。

現在の小島合宿所は全く小島様の御好意により無償でお借りしている状況ですが、唯甘えてばかりいるのでなく学校当局にもお願いして何等かの対応策をたてる時期がきているのでないか——堀江理事長が第一号会報でも提起されているこの問題をめぐり意見交換をした。

10月11日(休)永楽クラブ

(出席者)⑩堀江 ⑪隈部 ⑫田窪 ⑬米晴 ⑭浜田 ⑮杉山・舟岡 ⑯清水・加藤 ⑰十肥 ⑱石田 ⑲木村 ⑳大 ㉑小坂 ㉒北島 (学生)北川・市村以上18名 (報告・議事)

(1)四大学OBレース(詳細別掲)舟岡

(2)アトミラル・カップ(詳細別掲)清水

(3)米年度ヨット部監督の件

③加藤監督、④北島助監督と決定(後日小沢会長にも了承を得た)55年総会にて正式推せんする運びとなる。現場を北島氏にお願いする比重が高まるので同助監督への協力を致したい。全員賛同。

(4)北島助監督あいさつ

小沢会長及び全OB、加藤監督の御指導助言を得て全力を尽くしたいと決意表明。

(5)学生あいさつ(北川君・市村君)

加藤監督に対する謝辞、今後後輩の面倒をみてゆきたい。

(6)その他発言(発言順)

※加藤・北島ラインを大いに応援バック。アップしよう(杉山⑩)。来年の四大学戦の幹事やるので協力を(舟岡⑪)。11月

3日大隈庭園の校友会に多く参加を、特に30年卒のホーム・カミングデーです(浜田⑩)。リーダーの条件は相手の立場を良く理解してやること、家庭の良い条件を保つこと……と北島君に助言(堀江⑬)。リーダーは人的裾野を広くもて(隈部⑭)。財政的な面で協力する、年次別の理事活発化期待する。金の事、合宿所の事を長期計画でやる時期だと思ふ(石田⑮)。組織面、金銭的面でと協力したい。早風会も18回忌是非良い会にしたい(木村⑯)。就職戦線奮闘中(学生五年生北川君⑰)。世界のヨットのレベルは高かった(清水⑱)。息子と海に出てWの学生に声をかけたが、判ってもらえず、息子にワセタヨット部OBの真偽を疑われた。これから真剣に考えましよう(大⑲)。ワセタ百年祭で埼玉に高校が出来るらしい。校友会の三分の一、埼玉県民三分の一らしい。今の内に埼玉に引越すのも手かも。……分の一は全寮制の準備あるらしい(加藤⑳)。厚生年金ももう年になった。ワン・トーンや四七〇にのっている。息子のカントリでトラビーズも使える様になった。クラブや部の面どうみれず申し訳けない(田窪㉑)。今夏稲竜のクルージングにのって以来仕事も順調、やはり気分転換必要です。最近30年組の高島氏と仕事をしています。この人当時の鬼の森カントクにクビになったが、是非クラブに復帰させて欲しい。故き森さんも笑って受け入れてくれるのでは(米晴㉒)。私の年代は会費納めてないのいますか?(小坂㉓)。今年の実技は本当に良いムードで出来た。部員諸君も

本当に良くやってくれた(安藤㉔)。本当に盛会でした。

皆様に

この会合は、毎回一人三、〇〇〇円の会費でまかなっております。理事会でも世話人会でも、会員誰でも出席自由です。同期の集いも兼ねてでも、ご参加下さい。今後の日程は別掲の通りです。

例会についての出席ご連絡は

米田 TEL 03-272-5131

濱田 TEL 03-342-3111

(大丸輸出入繊維業) (朝日生命・第五企業保険部)

森繁先輩、私の履歴書 執筆

日本経済新聞の「私の履歴書」欄に、森繁久彌先輩が執筆された。10月6日には次の如き一文があった。

……阪神沿線の友や、東京のヨットの好きな連中と、早稲田にヨット部を作ろうと奮闘した。が、それも私が劇研(演劇研究所)に入部するや、おろそかになり、小沢氏や田原氏やらが早稲田ヨット部を作ることになる。

先号の小沢先輩の一文の時期のことである。興味深く読ませていた。

XXXXX会費・ご寄附お願いXXXXX  
54年度・年会費一万円  
(振込先) 第一勧業銀行 日本橋支店  
普通口座一四四九七三九  
堀江喜三(ホリエキゾウ)

ご寄附金については、金額自由です。よろしくお願い致します。  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

羽生先生 遠征・優勝 四七〇選子権団長で

当クラブ会員 羽生先生は八月中旬オランダで行われた四七〇級世界選手権の日本チーム団長として遠征された。

こ、で日本チームはヨットの国外レースに始めての優勝をとげた。昨年の浜名湖での二位に続くものである。

四七〇級協会は小沢信三郎先輩の協会長、松本富士也⑳氏が強化委員長であります。

この実績が認められて、今度九月、体協はヨットを金メダル候補種目に認めた。援助費増につながるものである。

稲龍 安全検査 終る

稲龍は建造後13年を経過し、大学の実技講習用の大型ヨットとして、安全に運航する為、種々の修理や部品の取り替えが必要となりました。

ところが従来予算不足の為此らを行えずNORCの安全検査を受けることも出来ない状態が続いていました。その検査を受けられぬ為、レースにも出られない次第でした。

今回、学校の子算に加えOB会からの援助で必要の修理も行い、不足備品も揃え七月末お蔭様で安全検査を完了いたしました。

御礼等々御報告いたします。 稲龍委員会

会費納入者一覧表 (会報⑤以降)

- (13) 松山 藤村 (14) 増井 (15) 田原 永元
- 植松 (16) 堀江 (17) 隈部 大井 (18) 田窪
- (19) 金子 (21) 坪田 野木 (22) 久保田 清水
- (23) 加藤 (26) 渡辺 中村 (28) 円谷 佐伯
- (29) 金沢 石川 安藤 米田 (30) 岩本 鈴木
- 木 松本 浜田 遊佐 (31) 杉山 舟岡
- 安井 鈴木 (32) 山崎 (33) 清水 加藤 (36)
- 土肥 吉田 (37) 小沢 桂 伊藤 石田
- (38) 安藤 中島 木村 (39) 志智 (40) 斎藤
- (41) 森 斎藤 滝 頼 長沢 江上 小浜
- 小坂 石井 (42) 岡戸 (43) 冬至 (44) 斑目
- (50) 藤井達 角田 青木 (52) 川瀬 岩崎
- (53) 光武 野口 斉田 酒井 橋本 渡辺
- 大原 貝出 石川 (以上七二名)

ご寄附いたゞいた方一覧表

呼びかけに応じて、ご寄附いたゞいた金額は 54年8月末現在で 五八万円に達しました。心から御礼申し上げます。今後共よろしくお願い申し上げます。

- (13) 松山 藤村 (14) 増井 (15) 永元 植松
- (16) 堀江 (18) 田窪 (19) 金子 (21) 坪田 野木
- (22) 清水 久保田 (26) 中村 (28) 佐伯 円谷
- (29) 金沢 石川 安藤 米田晴 (30) 岩本
- 鈴木 遊佐 (31) 杉山 安井 (32) 山崎 (33)
- 清水 加藤 (37) 石田 桂 小沢 伊藤
- (38) 安藤 中島 木村 (39) 志智 (40) 斎藤
- (42) 岡戸 (43) 冬至 (44) 斑目 (50) 藤井 角田
- (52) 岩崎 (53) 渡辺 斉田 光武 野口 酒井
- 井 橋本 大原 貝出 石川 以上46氏

及び 東海OB会殿 以上合計五八万円 (54・8現在)

ごあいさつ 理事長 堀江喜三

OB諸兄には各分野での活躍、心からよろこび申し上げます。

皆様のワセダヨットクラブも「学生への物心両面にわたる援助」「会員相互の親睦交流」と、着々その美を挙げておりますこと、これひとえにOB諸兄のご協力の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。

クラブの活動の盛りあがりに伴い、全国OB諸氏からの反響も誠に力強いものがあります。そのことは会報の随所にお読みとりいただけると存じます。

先般来OB諸兄からお寄せいただいたクラブへのメッセージ、又堀江個人へのお使用も数多く賜わり不当にありがとうございます。嬉しさなつかしきで唯々感激しております。

会費納入にご寄附をも併せお願いした募金運動も十月の今も尚ポツポツお振込みが続いており、皆様が心にかけて下さっているのが良く判り感謝しております。お忙しい毎日ですが、お忘れの方この機会に是非一歩銀行へお立ち寄り下さる様にお願いたします。

来る55年度も種々充実した日程を組みたいと存じますが、先づ新年総会を早稲田大隈会館で開催します。ご家族と一緒に賑やかにご参集いただきたく存じます。当日は大学の部長先生もお招きし母校の現状と将来についてもお話を伺う予定です。

以上、御礼とご案内をかねて、ごあいさつ申し上げます。

新年総会ご案内

55年度新年会と通常総会を開きます。OBの皆様ごぞってご出席下さい。

日時：55年1月13日(日曜日)正午～2時30分 (11時半受付開始)

場所：早稲田大学・大隈会館 1階ホール

会費：会員3,000円 同伴者と沢山喰べる子供1,000円

夫人・お子様、参加観迎。奥さんにワセダをみせた事のない人。この機会に是非。

子供たちも試験なしでワセダに入れます。

その他(イ)お正月ですので、福引用意あり

(ロ)ワセダヨットクラブのユニフォーム受社します。

早稲田ヨットクラブ

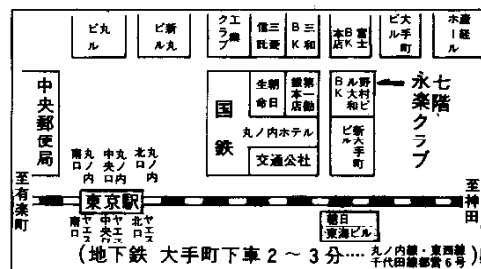
例会日程1979-80

第2木曜か第3木曜日 夕方6時～8時

11月8日(休)	理事会	永楽クラブ
12月20日(休)	人忘年会	"
1月13日(日)	55年春総会	大隈会館
2月14日(休)	世話人会	永楽クラブ
3月13日(休)	理事会	"
4月10日(休)	世話人会	"

(理事会も世話人會も、誰でも出席自由)

永楽クラブは TEL: 03-231-6439



ヨット部への援助

- 5・28 五十万円ヨット部へ
- 7・24 五十万円
- 8・15 二十万円
- 5・28 三十万円稲竜会計へ
- 7・24 三十万円

右の通り、理事会決定に基き援助いたしました。ヨット部では百万円をスナイプ新艇建造に、二十万円を遠征費に充當いたしました。稲竜六十万円は安全備品購入及び補修費に充當しました。

皆様の会費・ご寄附のお蔭です。紙上をかりて、厚く御礼申し上げます。

理事長

〇〇〇遅ればせ乍ら一筆〇〇〇

羽生典生(6) オリンピックがすんだら又お役に立ちたいと思います。

阪原昌男(14) 昭和46年常盤炭炭閉山し福島から東京(市川)に参りました。現在「全日本労働協会」(〇三―三五四―四一六一)におります。

加藤久直(23) 十二月の忘年会には是非出席させていただきます。

本本精之助(27) 最近、名古屋近辺で、池口さんを中心にOBの集り復活。喜んでいいます。

宮田邦夫(29) タイ駐在を終えて、昨年帰任しましたが仕事柄出張多く御無沙汰してきます。折をみて参加します。

森 昭(41) 組合関係多忙の為、失礼してきます。

(事務局 二ぼればなし)

諸先輩の連絡がよくとれています。その中で、こんなことがあります。

A先輩の消息について二人の方から連絡をいただいた。

B先輩から「彼はもう、なくなったそう」

C先輩から「この住所にいる筈」

事務局困った。本人にきく訳にゆかずやがてC先輩から再度確認ありA氏健在。

かくて、暫くしてご本人よりおたよりもいた。けた次第。

一度死んだと間違えられた人は、長生きするとか。めでたし。

(米田(晴) 記)